

リ、○中典厩ハ上杉ト野州ニ戰ケルガ上杉ハ騎西ニ退キテ陣シ、典厩ハ古河ニ動座、是ヨリ年久
 シク、此所ヲ居所トセラル、○中二年正月、岩松右京大夫、上杉方ト岡部ニ戰フ、○中此年江戸城ヲ
 築ク、○註長祿元年四月、河越城成、○註岩槻城成、○中長享二年正月、兩上杉未和セズ、當國松山ニ
 戰フ、○註秋山内顯定、鉢形ニアリ、故道灌子太田源六郎來從テ平澤ニ居、○中永正元年九月、扇谷
 五郎朝良大將軍トシテ立河原ニ陣ヲ張ル、山内ノ管領民部大輔顯定入道可諱及當屋形憲房東
 八州ノ軍兵ヲ催テ會戰ス、朝良敗シテ河越ニ入、○註二年三月、山内顯定父子河越ヲ圍ム、朝良和
 ヲ乞フ、依テ山内ハ上州ニ、扇谷ハ江戸ニ歸入、○中享祿三年六月、上杉朝興ト北條新九郎氏康小
 澤原ニ戰フ朝興敗北ス、○註四年七月、古河御所政氏朝臣逝去セラル、久喜ニ葬リ、甘棠院ト號ス、
 ○中十四年九月、上杉憲政河越城ヲ圍ム、城中ニハ北條左衛門大夫綱成籠ル、○註十月、古河御所
 上杉加勢トシテ河越ニ後詰セラル、○中永祿元年八月、甲斐武田信玄小田原ニ攻入ント
 シテ、當國ニ兵ヲ出ス、○中元龜元年、北條氏政秩父迄出陣、信玄裝輪ニ働クヲ以テナリ、○註十月
 北條左京大夫氏康卒、○註三年閏正月、秩父新太郎氏邦、岩槻太田十郎氏房等兵ヲ野州ニ出ス、氏
 政ノ命ニ依テナリ、○中天正元年、十八年、小田原兵亂、○註時關白ノ命ニヨリ、三手ニ分テ當國ニ
 入、○中四月、青木城陷ル、○註松山城留守ノ者モ開城ス、○註本田砦自落、○註河越城兵亦退去、○註
 略八王子城ヲ攻テ是ヲ拔、○註江戸城ヲ受取、○註五月、岩槻城陷ル、○註六月、鉢形城降ル、○註秩
 父ノ諸城亦落著ス、○註忍城主成田下總守氏長、和談シテ城ヲ渡ス、○註此餘落去セシ諸城ハ、小
 机、○註木栖、羽生、菖蒲、○註深谷、○註八幡山、○註久下、○註其外砦尙數箇所アリ、○註東照宮頓テ
 北條氏ノ闕國ヲ賜給ヒテ、江戸城ヲ府ト定ラレ、今年八月朔日御打入有テ、旗下ノ諸士ニ領知ヲ
 頒賜フ、○中以上古來ヨリノ變革ヲ約言スルニ、上古三國ヲ併テ武藏國トセラレ、○註國造ヲ置
 レテ政治ヲ沙汰セシメラレシカド、元是國人ナレバシバ、我意ノ所行ナド、流弊ヲ免レザリ